



2018年10月31日

各 位

会 社 名 東邦チタニウム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西山 佳宏
 コード番号 5727 (東証第一部)
 問 合 せ 先 経営企画部長 井ノ川 朗
 (TEL. 0467-87-2614)

2019年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年7月27日に公表した2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2018年7月27日に公表した2019年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	22,600	2,900	3,000	2,000	28円10銭
今回実績 (B)	20,184	2,539	2,804	2,297	32円28銭
増減額 (B-A)	△2,415	△360	△195	297	
増減率 (%)	△10.7	△12.4	△6.5	14.9	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	17,808	1,928	1,870	1,312	18円44銭

(差異の理由)

第2四半期累計期間の売上高は、スポンジチタンの一部海外顧客の工場の操業トラブルの影響により、販売数量の減少及び販売時期の一部先送りが生じたことを主因として、前回予想(2018年7月27日発表)を下回る結果となりました。また、これに伴い営業利益及び経常利益についても、前回予想を下回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、今回から、期末のほか第2四半期末の繰延税金資産の回収可能性判断においても翌期以降の収益見通しを考慮することとした影響により、前回予想を上回る結果となりました。

2. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	42,600	4,400	4,400	3,700	51円99銭
今回修正予想（B）	41,200	5,100	5,000	4,100	57円61銭
増減額（B-A）	△1,400	700	600	400	
増減率（%）	△3.3	15.9	13.6	10.8	
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	37,255	3,930	3,493	3,394	47円69銭

（修正の理由）

売上高は、前述したスポンジチタンの一部海外顧客の工場の操業トラブルの影響による販売数量減少を主因として、前回予想（2018年7月27日発表）を下回る見通しです。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、減販の一方でスポンジチタンの平均販売価格の改善が見込まれることや、一般工業向けを中心とするチタンインゴットの増販・増産、一般管理費削減などにより、前回予想を上回る見通しです。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上